

愛知県立大学の日本語教育実習生と愛知医科大学学生、 日本赤十字社が協力して長久手市の防災訓練でブース出展します

愛知県立大学の日本語教員課程で学ぶ日本語教育実習生は、毎年4月から1年間、長久手市国際交流協会日本語ボランティア教室で、市民のボランティアメンバーと共に日本語を教えるボランティア活動を行ない、長久手市の多文化共生について理解を深めています。また、地域の外国人支援が必要とされることについて理解を深めるため、長久手市国際交流協会日本語ボランティア教室との合同研修(8月4日)を行ってきました。この一環として、11月18日に開催される長久手市の防災訓練においてブース出展をします。

今年度は、新たに愛知医科大学と連携した防災訓練ブースを出展します。9月下旬より、2回合同研修を行い、日本人住民と外国人住民の共助を目指した防災訓練のありかたについてプロジェクト学習を進めてきました。11月18日の防災訓練では、本学日本語教員課程の「外国人の日本語学習支援」と愛知医科大学の「看護学」、それぞれの専門性を活かした体験型展示を行います。さらに、昨年度の長久手市一斉防災訓練で行った日本赤十字社愛知県支部との「やさしい日本語によるAED講習」も行います。この活動は、本年度本学日本語教員課程と日本赤十字社愛知県支部が協力して作成している「一般外国人住民向けやさしい日本語によるAEDリーフレット(試作版)」も用いて行います。このリーフレットは、昨年度作成したやさしい日本語版・外国人向け救命講習テキストを基に新たに作成しているもので、11月7日にリーフレット作成ワークショップも実施しました。

以上の2つの取り組みを中心に、当日は、本学日本語教育実習生(12名)、愛知医科大学学生(8名)、本学交換留学生(9名)が防災訓練で活動に取り組み、地域住民と交流を図りながら、災害時の外国人住民とのコミュニケーションについて考えます。

- 日時**：11月18日（日曜日）9:00～11:00ごろ
場所：長久手市立北小学校（長久手市池田77番地）
長久手市立西小学校（長久手市打越901）
参加者：県立大学日本語教育実習生12名（各会場：6名）
：愛知医科大学学生8名（各会場：4名）
：県立大学留学生9名（西小学校）
：日本赤十字社愛知県支部1名（北小学校）



2017年度の活動

北小学校・西小学校の出展内容 [愛知医科大学協働企画]

普段の生活、災害が発生したとき、避難所での生活、3つの場面を想定した3種類の体験型展示を行います。

オリジナルの「非常用持ち出し袋」をつくらう！

本当に必要なものは何か？を考え、普段から備えるために何をすればいいか考えます。

避難ルートを確認しよう！

災害が発生したとき、どこに避難すればいいのか、そして、そのルートは安全かどうかを考えるワークです。

応急手当の方法&やさしい日本語での問診

身近なもので対応できる応急手当や、健康管理の方法について紹介します。



準備を進める2大学の学生

北小学校で出展 [日赤愛知県支部協働企画]

日本赤十字社愛知県支部による やさしい日本語でのAED講習



2017年度の活動

本学日本語教員課程と日本赤十字社と協働で作成中の「一般外国人住民向けやさしい日本語によるAEDリーフレット(試作版)」を用いて、外国人住民・日本人住民を対象としたAED講習を行います。

西小学校で出展

愛知県大の交換留学生による 海外自然災害情報ポスター展示



2017年度の活動

県立大学に留学している交換留学生9名が、出身国の自然災害や防災についてポスター展示を行い、地域住民の方と日本語で、災害への考え方の違いなどを話し合い、交流を深めます。

【本件に関する問い合わせ先】

授業担当：愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授 宮谷敦美・東弘子

愛知県立大学戦略企画・広報室(藤本)

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

Tel:0561-76-8636